



こんにちは

村田けい子です

2018.10.26
No 173

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

オール沖縄3連続勝利 那覇市長に城間氏再選 “新基地ノー”の民意固く



沖縄県の県都・那覇の市長選が21日投開票され、同県名護市辺野古米軍新基地建設反対の「オール沖縄」で翁長雄志前知事の遺志を継ぐ、現職の城間幹子氏（67）が再選されました。県知事選より票を上積みしたとのこと。同新基地反対を掲げて玉城デニー氏が圧勝

した9月30日の知事選、その後のオール沖縄候補が初当選した豊見城（とみぐすく）市長選に続いて新基地ノーの沖縄の強固な民意を示す歴史的勝利です。

佐久地域からも選挙の支援に赴いたNさんは、「選挙事務所の雰囲気が増しに上がってきて、市民が負けられないと一丸となって選挙に取り組んでいました。沖縄県民の強い決意がはっきりと感じられた選挙でした。」と語りました。

県知事選挙は、安倍政権丸抱えで「人もモノも金も」つぎ込まれた選挙だったそうです。ある会社社長は、社員に『投票用紙を写真に撮って送れ』とまで指示したと伝えられました。投票の秘密を踏み破る憲法違反を指示してまでの凄まじい選挙戦だったそうです。

沖縄のみなさんの闘いは「非暴力であきらめないこと」です。私たちも、要求で一致できる野党と共闘して、1人区で勝利するように、頑張りたいと思いました。

地域の話

11月11日(日) 水野スウさん「けんぽうおはなし会」

午前10:00～午後1時半 立科人権センター
紅茶&クッキー+ランチ付き小学生以下無料・託児あり ☎ 090-2399-7502 (二川さん) 前売り 800円 当日1,000円

11月28日(水) 沖縄・福島をつなぐ尺八演奏と語り

午後7:00～9:00
立科中央公民館 ☎090-9144-8534村田

議会報告会

10・28(日)午後2時～3:30
立科町公民館
ご意見・ご要望をお聞かせください。お待ちしております。
公共交通・下水道事業の不適切処理問題・権現の湯利用料値上げなど
会場は「立科の未来を語る会」で。



ギンナンを
どうぞ自由に

今週の
パチリ

中山道ウォークで訪れた正明寺。イチョウがわずかに色づいていましたが、その根元にギンナンがどっさり。
「おっ、ギンナンですか。イイデスネ」というと「ご自由にお持ち帰りください」とのこと。落ちたギンナンを掃き集め、結局ゴミとして焼いてしまうとのこと。もったいない！どなたでも持ち帰っていいですよ。みなさ～ん！

秋の立科を満喫！おもてなしに心もおなかもいっぱい。

—秋晴れの下、中山道ウォーク盛大に行われる。130人参加



「ようこそ立科へ」米村町長歓迎のごあいさつ



シーナちゃんもお目見え、子どもたちに大人気。



司会もお手の物、町区の区長さん



「茂田井、間の宿でお待ちしています」茂田井の区長さんほか、安協・消防のみなさんなど多くの方がこの日のためにご尽力された。本当にお疲れ様でした。



町区のおもてなしには、一休さんならぬサンキュウさん。甘酒やお団子を運んでくれました。

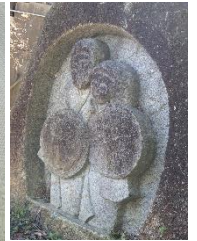


脇差を腰に差した着流しの男性の姿が、中山道にふさわしい装いでのご参加です。カメラのフラッシュがたかれました。

初めて中山道ウォークに本格的に参加しました。町を貫く中山道宿場町の風情を楽しんでもらおうともう10年続いているそうです。去年は投票日に当たり中止になり、この日を待っていたという方も大勢いらっしゃったようです。出発前のセレモニーでは10年皆勤という方に感謝状と記念品が贈られました。



本陣の上段の間に残る火鉢と塗り壁。こんなわずかな火鉢で和宮さまも暖をとりました。



傘を持った道祖神、はじめてお目にかかりました。

初めていただいた和宮御膳。本陣に残っていた江戸時代のレシピを参考に、現代風にアレンジしたものということです。これで3,000円は安いでしょう。手前は松茸ご飯でした。普段はお目に係れない珍しいお料理ばかりでした。大切な財産ですね。お料理はアンビエントの「花いづみ」の料理長。



塗り壁は、ゴマ、コメ・ヒエ、キビ、ソバなどの実を塗りこめて模様にする。町としても、きちっと調査して、横に説明板を付けるなどの工夫が必要。この部屋には、仕掛けがいくつもあり、障子が上がって抜けられるようになっている。津金寺に逃げられるようになっていたとか。歴史を感じる。

本陣には、長槍や信玄公や真田信之が描かれている大和絵など、貴重な品々が数多く残っています。間の宿や芦田宿など、文化財としてきちっと保存・管理することが急務です。

ウォークの道中には、お花が飾られ、秋の宿場町を彩っていました。



石臼に活けられた小菊。「こんな使い方もあるんだね」と感心しきり。



旅人が歩く道沿いに、様々趣向を凝らしたおもてなしの数々が、リンゴや漬物、ソバ・お抹茶サービスなど、町区・茂田井区のみなさんが心を込めてもてなしてくださいました。ありがとうございました。



赤く色づいたガマズミと紫式部。下を流れる水路とのコラボが風情



昔ながらの門前に玉菊が。主の心映えが伺えてうれしい。